



ダビデのなみだ



サウル王と、親しい友だちのヨナタンをうしなって、心をいためたダビデがなみだをかいています。悲しくてなみだをかいてください

未来のために器を広くしよう

ペットボトルのふたには、ご飯を入れることはできません。同様に、小さな信仰の器には、未来の大きな答えを入れることはできません。みことばと祈りで今日という器を大きく広げてみてください。その大きさだけ、明日という未来の答えを入れることができるのです。

1. 希望を持って未来の祝福を待ちましょう

ちょっと失敗して、カバンに墨汁がはねました。しかし、それほど腹が立ちません。明日、お母さんがきれいなカバンを買うと約束してくれているからです。テサロニケ人への手紙第一章3節のみことばのように、未来に対する希望があれば、がまんして、待つことができます。

2. 祈りの武器を使いましょう

未来の祝福を味わうために、五つの祈りの武器を使ってみましょう。最初に、定刻の祈りを通して霊的な力を得てみましょう。二つ目、常時祈りを通して弟子との出会いを持ってみましょう。三つ目、礼拝祈りを通して約束の成就を体験してみましょう。四つ目、深い祈りを通して友だちが変化するのを体験してみましょう。五つ目、集中祈りを通して奇跡が起こるのを体験してみましょう。

3. 未来の祝福を味わう器を準備しましょう

毎日<子どもの祈りの手帳>のみことばを黙想して祈っているならば、自然に成功という器が作られていきます。そして、聖霊様がともにおられ、導いてくださって、満たして下さり、働かれることを毎日体験すれば、未来に対する確信の中で、今日の生活を徹底して準備できます。



きょうのみことば

テサロニケ 1:3

絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。

Handwriting practice lines with dashed midlines.

私にあたえてくださった未来の祝福を希望にして、今日も祈りの中で準備することができるように助けてください。特に聖霊の内住、導き、満たしを体験することができるように恵みをあたえてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



火曜日

14

きょうのみことば

使徒 2:42

そして、彼らは使徒たちの教を堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。

出会いの祝福を味わう弟子

伝道とはなんでしょうか。「私の教会は、ほんとうに楽しいのよ」「私の教会に来たら、プレゼントの良いものをくれるよ」これが伝道でしょうか。伝道は、うえかわいている友だちに、イエス様がキリストである事実を伝えてあげることです。

1. 弟子とは

福音でないほかのもので、人々の心をつかもうとする人は弟子ではありません。弟子は福音の中で答えを味わう人です。自分の利益だけ願うまちがった動機をすてて、ただ福音を愛する聖霊に満たされたキリストの働き人が、まさに弟子です。

2. 弟子に準備された出会い

弟子は神様のみことばが成就するようになる出会いをもっとも喜びます。私の考えと私の思いを越えて、神様の時刻表の中で成しとげられる出会いをいつも期待します。また、神様の完全な計画の中で、伝道と宣教がなされる出会いを持つ時、最高に幸せです。

3. 弟子の生き方

弟子は、礼拝の時に受けた神様のみことばに従って生きていきます。それで、だれに会っても、救いにたいする感謝があふれ出て、みことばの成就をわかちあいます。弟子はすべてのことに聖霊がともにおられ、導かれて、働かれる祝福を生活の中で毎日体験します。

神様、私は真の弟子になりたいです。今日、一日も神様のみことばにしたがって、正しい出会いをもって、救いにたいする感謝があふれて、祈り続けることができるようにさせてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

学院福音化適用 3



けいやく はこ 契約の箱のおえかき



ダビデ王が夢に見ていた契約の箱を、自分の町にうつすことができました。ダビデ王は、とてもよろこんで、びよんびよんとおどりをおどりました。1~20までの点をつないで、契約の箱を完成してください。

奇跡の神様が私を守られます



きょうのみことば

出 14:19-20

ついでイスラエルの陣営の前を進んでいた神の使いは、移って、彼らのあとを進んだ。それで、雲の柱は彼らの前から移って、彼らのうしろに立ち、エジプトの陣営とイスラエルの陣営との間にはいった。それは真暗な雲であったので、夜を迷い込ませ、一晩中、一方が他方に近づくことはなかった。

.....

.....

.....

.....

神様のみことば通りに祈って、神様のみことば通りに行動するとき、神様があたえられる奇跡を見ることができると信じます。毎日、神様のみことばにしたがって勉強をして、生活するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

● 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



先生に手紙を書いたお友達は

子どものうつ病うつびょうになってお友だちです。この友だちは、勉強べんきょうがよくできれば幸せしあわせになるでしょうか。良いことをよくすれば幸せしあわせになるでしょうか。お父さん、お母さんにおこすかいをたくさんもらったら、幸せしあわせになることができるでしょうか。病院びやういんでもらう、うつ病うつびょうの薬くすりを飲むと、すっきりと良くなるでしょうか。いろいろ方法をみな使つかってみても、この友だちは、幸せしあわせになることはありません。人は神様かみさまに会あってこそ、本当にほんとうに幸せしあわせになることができるのです。

神様に会いたいですか？
神様に会おうとするなら道が一つあります。それが、イエス・キリストという道です。



すべての問題の解決者であるイエス様が、十字架ごうかで死んで、おみがえって、神様に会う道になつてくれました。真の預言者よげんしや、私たちのすべての罪を赦ゆるされた真の祭司しやうしになりました。私たちにすべての不幸ふこうと苦しみをあたえるサタンを踏み砕くだされました。(真の王)

金曜日

17

きょうのみことば

ローマ 2:17-29

外見上のユダヤ人がユダヤ人なのではなく、外見上からの割礼が割礼なのではありません。かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による、心の割礼こそ割礼です。その誉れは、人からではなく、神から来るものです。(28-29)

友だちにじまんすることがあります

ゲームを新しく買ったり、成績があがったら、じまんする友だちがいるでしょう。しかし、そのようなことで、暗やみに勝つことはできません。神様がレムナントにあたえられた福音だけが暗やみをくぐり、神の国が臨む奇跡を起こせます。

1. 救いの確信

救いとは、悪魔(サタン)と罪と地獄から解放されたということです。救いは、人の努力で得ることはできません。ただイエス様を心におむかえすれば、救われるのです。

2. 祈りの答えの確信

むだな心配や、悩みのようなことはせずに、イエス様のお名前前で祈ってみてください。神様が耳をじっとかたむけて、レムナントの祈りを聞いてくださいます。

3. 罪の赦しの確信

すべての人は原罪をもって生まれてきて、また、生きていきながら罪を犯します。そして、このような罪のために、どうすることもできず、のろいと災いを受けます。しかし、すべての罪の問題を解決された神様の子どもは自由で幸々に生きることができま

4. 導きの確信

聖霊さまが神様の子どもが、どこでなにをしても、いつもともにおられ、いつも導いてくださいます。

5. 勝利の確信

いじめ、びり、貧しさなどレムナントが問題だと考えるすべてのことが、事実は、一つも問題ではありません。レムナントは、神様の子どもだから、神様がくださる力で、すべての問題を充分に勝つことができます。困難がきても心配しないでください。神様の力を信じてみましょう。

神様の子どもとしてくださって、いつもともにおられることを感謝します。5つの確信を忘れないでいつも信じて生きていくレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

★定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

アドナイ・イルエ

Lord will Provide

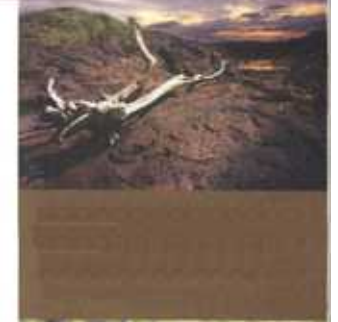
アドナイ・イルエは、モリヤの山の別名です。

「アドナイ・イルエ」という単語は、「主なる神様が送られること」「または「主なる神様が備えておられること」という意味を持っています。

アブラハムがモリヤの山でひとり子のイサクを全焼のいけにえとしてささげようとした時、神様がイサクのかわりに雄羊を備えてくださることによって、イサクのいのちを救うようにされました。この時、アブラハムがそこをアドナイ・イルエと呼んだのです。

同じように、神様は神様をはなれて、のろいと滅びの中にいる私たちのために、イエス・キリストを送ってくださいました。イエス・キリストが、私たちのすべての罪と呪いを負って十字架で代わりに死んでくださいました。この単語はものすごい福音の意味が含まれています。私たちのいのちを生かすために、神様ははじめからメシヤであるキリストを備えられて、この福音の恵みの中に入ってきている私たちの生活の中でも、瞬間ごとに私たちに必要なことを備えておられる、アドナイ・イルエである神様を体験するようにされるからです。それで、アドナイ・イルエの神様を体験すれば、心配、思いわずらい、葛藤が、すべて消えます。特に、世界福音化の主役として呼ばれた福音を持ったレムナントと伝道者のために、すべてのことを備えてくださっているの、恐れることがなく、大胆に世の中に向かって進むことができるのです。

今日一日、アドナイ・イルエを深く黙想して、私にアドナイ・イルエがどんな意味になるかを近くの人といっしょに話してみましよう。





ほんとうにおもしろい でんどう 伝道

ミチは、いつもほめられる子どもです。小学生の礼拝が終わったら伝道師先生が満足するほど、恵みを受けるフォーラムも上手にして、みことばもよくにぎります。また、ミチは、学校でも先生にいつも、ほめられるよい子です。

でも、ミチには、他の人々には話すことができない悩みが一つありました。伝道を上手にする自信がないということです。なぜでしょうか。友だちに福音を伝えたら、ひどく拒否された経験があったからです。それで、ミチは伝道が一番、きらいでした。

そんなある日、ミチは、トマトを食べに台所に行って、食卓の下に落ちていた<深い泉>という伝道資料をひろいました。ミチは、心の中で思いました。

「パパが落として行ったみたい」

ミチは、トマトを一口大きくかじりながら、<深い泉>を読んでみました。そうしたら、ミチの目に飛び込んできた内容がありました。

万物が従う御名

伝道やキャンプは目的なしにすることでなく、門をさがすことです。なるようになる門、なるしかない門、絶対に必要な門を探すのが神様の方法です。パウロのように、現場のシステム(祈り場、会堂、講堂、黄金漁場)を利用して、この門がつながって持続する伝道運動を開くのです。福音の中にすべてがみな備えられているという事実を知らなければなりません。私が先に味わうべきですが、その方法が、完全祈りなのです。

ミチは、ポンとはひざをたたきました。伝道をむずかしく思っていたけれど、知ってみれば、まったくむずかしくはないんだな。

門だけ探せばよいので、それも、神様がみな備えておいてられるので、自分は現場で祈りながら味わうだけでよいのだな。ミチは、そのことを、この時まで知らなかったのです。

ミチは、食べていたトマトを、食卓の上において、両手を合わせて祈りました。

「神様、感謝します。現場で私とともにおられる神様を味わう者になりたいです。そして、現場に伝道の門を探る者になるように働いてください。今この時間、キリスト・イエス様のお名前で、私の現場に働く暗やみがくだかれて、神の国が臨むように働いてください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン」

その日から、ミチは、とても驚く経験をするようになったそうです。お寺に通っていたマサコが、お姉さんとけんかをして心が痛いと言ったので、ミチがなぐさめながらイエス様を紹介したら、イエス様を心に主人として受け入れると言いました。また、キミコにマサコがイエス様を受け入れるようになった話をしたところ、キミコも急に「私もイエス様を信じたい」と言って、また、受け入れるようになりました。ひもがつながって、いくように、友だちに伝道できるので、これが伝道の門なのだと思えて、ミチは、毎日、毎日、うれしいのです。

ていにくいの
◎ 定刻祈りの点検：
昼 12 時
教会のために祈りましょう。
夜 9 時
RUTC のために祈りましょう